

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
事業名	340	老人福祉一般経費	01	一般会計	
基本施策	6	高齢者の健やかな生活を支える	03	民生費	
			02	老人福祉費	
			01	老人福祉総務費	
担当部課名	大山田支所 健康福祉課		細目	101	老人福祉一般事業
作成者氏名	川合 文秀	連絡先	細々目	01	老人福祉一般経費
		47-1151(内線220)			

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
事業の目的	在宅高齢者及びその家族	地域で支えあっていくために、その実情に合った支援事業を進めていく。
本年度事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議を開催する。 ・高齢者の生活上の相談に応じ、適切なサービスにつなげる。 	
開始年度	平成 16 年度	終了年度 平成 年度
根拠法令・要綱等		伊賀市地域福祉計画

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.5	0.5	0.5
人件費合計(A)	3,600	3,600	3,600
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	25	48	48
旅費	0	3	3
消耗品	25	45	45
合計(A+B)	3,625	3,648	3,648
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	3,625	3,648	3,648
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
地域ケア会議開催数	回	10	9	10			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
地域ケア会議の開催数	ケア会議の年間開催数	回	12 目標 ()	9	12
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

伊賀市地域ケア会議が設置された。支所に於いても継続し適切な解決方法の提供を行う

評価	必要性	4	事業継続して高齢者支援サービスを推進していく必要がある	総合評価
	有効性	4		
	達成度	4		
	効率性	4		
				A